



2019年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年4月19日

上場会社名 B-R サーティワン アイスクリーム株式会社

上場取引所 東

コード番号 2268 URL <https://www.31ice.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 裕明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部 経営管理部長 (氏名) 肥沼 邦幸

TEL 03-3449-0331

四半期報告書提出予定日 2019年5月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	3,784	12.1	164		136		76	
2018年12月期第1四半期	4,307	12.8	54		32		26	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	7.94	
2018年12月期第1四半期	2.79	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	17,328		9,192			53.0
2018年12月期	18,344		9,402			51.3

(参考)自己資本 2019年12月期第1四半期 9,192百万円 2018年12月期 9,402百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		15.00		15.00	30.00
2019年12月期					
2019年12月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,200	1.9	70		60		50		5.19
通期	20,100	0.1	550	23.3	700	16.1	335	18.7	34.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2.四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	9,644,554 株	2018年12月期	9,644,554 株
期末自己株式数	2019年12月期1Q	8,563 株	2018年12月期	8,561 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	9,635,992 株	2018年12月期1Q	9,635,993 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2019年1月～3月)における日本国内の経済環境は、企業収益や雇用情勢・所得環境の改善が継続し、個人消費の増加など景気は引き続き回復基調で推移しました。一方で米国の通商政策により懸念される貿易摩擦の影響や英国のEU離脱問題など海外の政治・経済動向の不確実性、慢性的な労働力不足など、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

また、アイスクリームを含めたデザート市場は年々拡大し続けており、外食業界ではInstagramやLINE、Facebookなどを中心としたSNSを使ったコミュニケーションやプロモーションが急速に進化し、業態を超えた競争が一層激化しております。

このような環境の下、当社ではサーティワンアイスクリームの永遠の経営モットーである“*We make people happy*”「アイスクリームを通じて、お客様に幸せをお届けします。」をスローガンに、全てのお客様に高品質で美味しいアイスクリームと“FUN(楽しいこと、嬉しいこと、感動すること)”に満ちたひとときを提供し、日本で最も愛され親しまれるチェーンとなることを目指すとともに、企業の継続的成長の維持と、企業価値の増大に努めてまいりました。

当期のマーケティング戦略は、店頭強化による既存店の活性化を最重要課題とし、アイスクリーム専門店にしかできないフレーバーの投入や、専門店ならではのサービスを提供するとともに、キャンペーンを強化してまいりました。

また、市場環境の変化に対応した店舗戦略として、店頭でキャンペーンやお勧め商品を動画により発信する「デジタル・サイネージ」の導入と強化を進め、店舗の改装やスクラップ・アンド・ビルドにも引続き積極的に取り組んでおります。

当四半期累計期間の営業施策としては、毎月「フレーバー・オブ・ザ・マンズ」として魅力的なアイスクリームを新発売するとともに、冬限定の温かいアイスクリームデザート「ホット31ドルチェ」や、苺の季節に合わせた「フレッシュストロベリーサンデー」を投入し、商品ラインナップを強化いたしました。また、お正月やひなまつり等のオケージョンに合わせた新商品の発売や、ディズニー・キャラクターを使用したバリュー・プロモーションなども実施しております。コミュニケーション・ターゲットは今年も情報発信力の強い女子中高生に設定し、3cLubやSNSでの告知を強化して来店促進と売上の向上を図りました。

また、店舗施策として改装を22店実施した一方、戦略的な閉鎖を先行した結果、期末店舗数は1,153店舗と前年同期末に比べ9店舗減少となりました。

しかし、売上高は、昨年3月に実施したソフトバンク社とのコラボレーション「SUPER! FRIDAY」を今年は実施しなかったこともあり、当第1四半期累計期間は37億84百万円(前年同期比87.9%)と前年同期間を大きく下回りました。

売上原価は18億85百万円(前年同期比86.4%)、売上総利益は18億99百万円(前年同期比89.4%)と売上高の減少に伴い減少いたしました。

販売費及び一般管理費は、物流効率化などの削減努力により減少しましたが、営業損失は1億64百万円(前年同期は営業損失54百万円)となりました。

以下、経常損失1億36百万円(前年同期は経常損失32百万円)、四半期純損失76百万円(前年同期は四半期純損失26百万円)となりました。

なお、当社はアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産は前事業年度末に比べ10億16百万円減少の173億28百万円となりました。これは主に、売掛金の減少によるものであります。

総負債は前事業年度末に比べ8億6百万円減少の81億36百万円となりました。これは主に、未払金並びに未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は前事業年度末に比べ2億10百万円減少の91億92百万円となりました。これは主に、配当金の支払いにより繰越利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月5日に公表いたしました「2018年12月期 決算短信（非連結）」の業績予想より変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,395,376	2,053,389
売掛金	3,203,637	2,238,437
製品	750,395	944,806
原材料	645,025	621,868
貯蔵品	350,390	260,890
前渡金	40,772	93,313
前払費用	284,641	320,562
未収入金	152,365	99,638
未収還付法人税等	—	222
その他	47,971	100,308
貸倒引当金	△86	△76
流動資産合計	7,870,491	6,733,359
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,114,753	4,120,073
減価償却累計額	△1,668,884	△1,707,732
建物(純額)	2,445,869	2,412,341
構築物	437,700	437,700
減価償却累計額	△214,776	△219,532
構築物(純額)	222,924	218,168
機械及び装置	3,997,716	4,008,564
減価償却累計額	△2,536,690	△2,567,906
機械及び装置(純額)	1,461,026	1,440,657
賃貸店舗用設備	4,300,697	4,487,938
減価償却累計額	△2,457,030	△2,502,814
賃貸店舗用設備(純額)	1,843,667	1,985,123
直営店舗用設備	168,092	169,016
減価償却累計額	△89,797	△94,091
直営店舗用設備(純額)	78,294	74,925
車両運搬具	71,065	71,065
減価償却累計額	△49,351	△51,278
車両運搬具(純額)	21,714	19,787
工具、器具及び備品	828,352	750,154
減価償却累計額	△633,542	△564,462
工具、器具及び備品(純額)	194,810	185,691
土地	695,362	695,362
建設仮勘定	92,698	42,564
有形固定資産合計	7,056,366	7,074,622
無形固定資産		
ソフトウェア	327,651	343,647
ソフトウェア仮勘定	39,733	80,829
電話加入権	17,065	17,065
無形固定資産合計	384,450	441,541

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	74,378	74,950
従業員に対する長期貸付金	3,003	2,868
破産更生債権等	139,865	139,222
長期前払費用	506,127	493,864
繰延税金資産	136,848	194,780
敷金及び保証金	2,181,193	2,180,082
その他	19,685	19,685
貸倒引当金	△27,460	△26,742
投資その他の資産合計	3,033,642	3,078,711
固定資産合計	10,474,459	10,594,875
資産合計	18,344,950	17,328,235

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	580,568	568,136
1年内返済予定の長期借入金	430,204	380,216
未払金	1,655,648	1,283,042
未払費用	37,568	37,293
未払法人税等	175,568	—
未払消費税等	43,571	2,028
前受金	2,276,977	2,183,996
預り金	162,466	150,314
賞与引当金	42,375	103,293
役員賞与引当金	3,000	—
ギフト券回収損失引当金	186,386	180,139
その他	71,476	34,749
流動負債合計	5,665,813	4,923,210
固定負債		
長期借入金	1,664,130	1,606,627
退職給付引当金	166,719	167,227
役員退職慰労引当金	85,900	89,872
資産除去債務	128,197	128,384
長期預り保証金	1,231,698	1,220,777
固定負債合計	3,276,645	3,212,888
負債合計	8,942,458	8,136,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,286	735,286
資本剰余金		
資本準備金	241,079	241,079
資本剰余金合計	241,079	241,079
利益剰余金		
利益準備金	168,676	168,676
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	39,512	39,512
別途積立金	4,140,000	4,140,000
繰越利益剰余金	4,094,676	3,873,655
利益剰余金合計	8,442,866	8,221,844
自己株式	△16,893	△16,901
株主資本合計	9,402,337	9,181,308
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	154	135
繰延ヘッジ損益	—	10,692
評価・換算差額等合計	154	10,827
純資産合計	9,402,492	9,192,136
負債純資産合計	18,344,950	17,328,235

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
売上高	4,307,497	3,784,567
売上原価	2,182,535	1,885,112
売上総利益	2,124,961	1,899,455
販売費及び一般管理費	2,179,241	2,064,059
営業損失(△)	△54,279	△164,603
営業外収益		
受取利息	286	163
店舗用什器売却益	7,406	17,641
販売済未使用ギフト券収入	5,294	17,883
受取ロイヤリティー	4,301	477
その他	13,374	2,295
営業外収益合計	30,664	38,461
営業外費用		
支払利息	3,270	4,146
店舗設備除去損	5,597	5,809
その他	353	60
営業外費用合計	9,221	10,016
経常損失(△)	△32,836	△136,158
特別損失		
固定資産売却損	236	—
固定資産廃棄損	15,146	12,836
特別損失合計	15,383	12,836
税引前四半期純損失(△)	△48,219	△148,994
法人税等	△21,313	△72,513
四半期純損失(△)	△26,905	△76,481

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前当期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号2018年2月16日）等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。